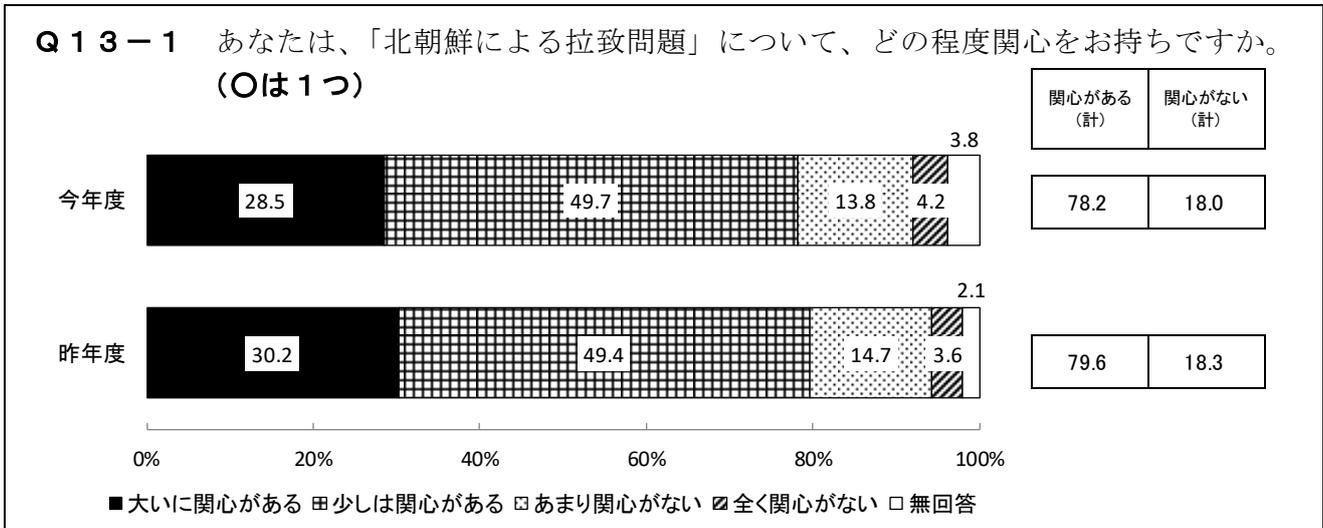


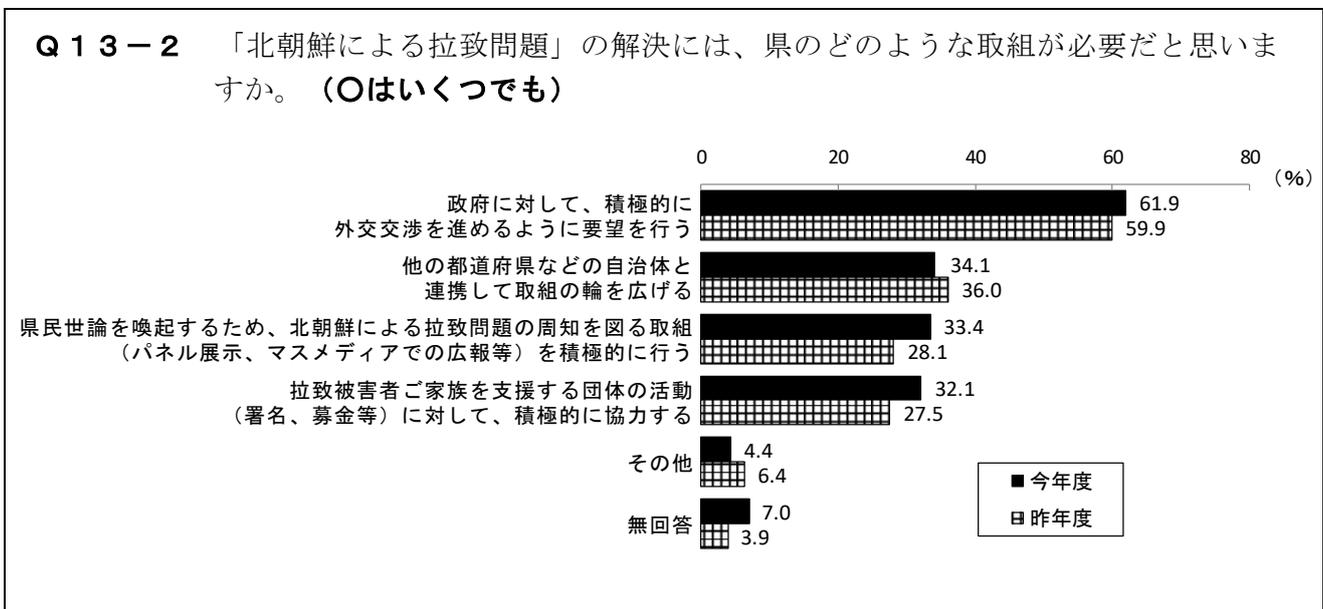
1 3. 北朝鮮による拉致問題について

1 3-1. 「北朝鮮による拉致問題」についての関心



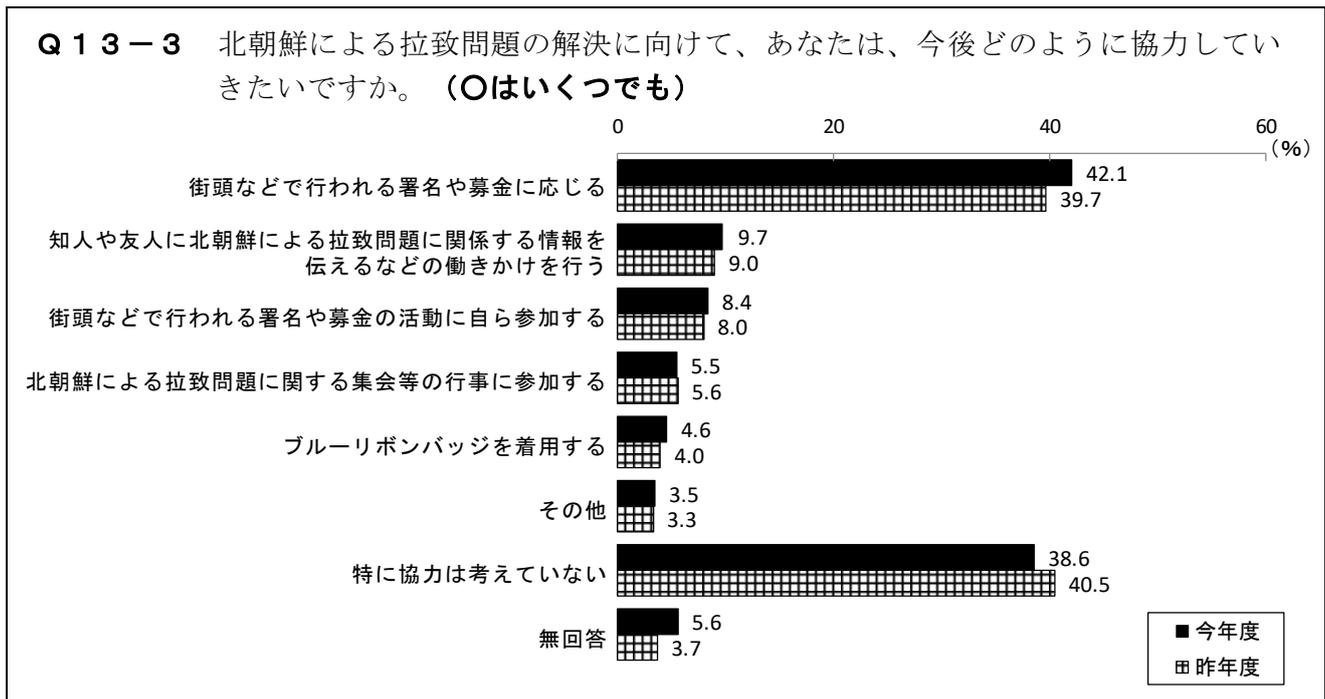
「北朝鮮による拉致問題」について、「大いに興味がある」と「少しは興味がある」を合わせた『興味がある (計)』が78.2%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない (計)』が18.0%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較しても、大きな差はみられなかった。

1 3-2. 「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組



「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組について、「政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う」が61.9%と最も高く、次いで「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」が34.1%の順となっている。昨年度と比較すると、「県民世論を喚起するため、北朝鮮による拉致問題の周知を図る取組 (パネル展示、マスメディアでの広報等) を積極的に行う」が5.3ポイント、「拉致被害者ご家族を支援する団体の活動 (署名、募金等) に対して、積極的に協力する」が4.6ポイントそれぞれ上昇している。

13-3. 北朝鮮による拉致問題の解決に向けての今後の協力



「北朝鮮による拉致問題」の解決に向けて今後協力していきたいことについて、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が42.1%と最も高く、次いで「知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う」が9.7%、「街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する」が8.4%、「北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する」が5.5%、「ブルーリボンバッジを着用する」が4.6%の順となっている。また、「特に協力は考えていない」は38.6%となっている。昨年度と比較すると、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が2.4ポイント上昇し、「特に協力は考えていない」が1.9ポイント低下している。